

広報くまもと
1965. NO. 179

豊かな県民生活への道



- ★グラビアページ★
- ★若者のうたごえ……………3
- ★豊かな郷土への姿勢……………17
- ★第一線の人びと……………24
- ★新産業風土記へ八代西瓜……………37
- ★県政ハイライト……………38
- センター・カラーへ球磨南部……………
- 表紙 絵へ初夏の阿蘇山麓……………

ことしの県の台所は……………33
(四十年当初予算のあらまし)

随 想
道 今ほむかしの旅・蒲池正夫……………6
衣食足りて・山田啓代……………6
路・緒方昇……………7

■計画達成のための資金……………31

■熊本県の将来……………27

1. 県内生産所得の成長率は一〇・〇%
2. 第2次、第3次産業就業者の増加
3. 総人口は一八〇万に
4. 縮まる所得格差
5. 消費水準は向上し、内容も高度化

■地域ごとの開発方向……………14

1. 新産地域
2. 振興地域
3. 開発地域

■計画の基本的な考え方……………8

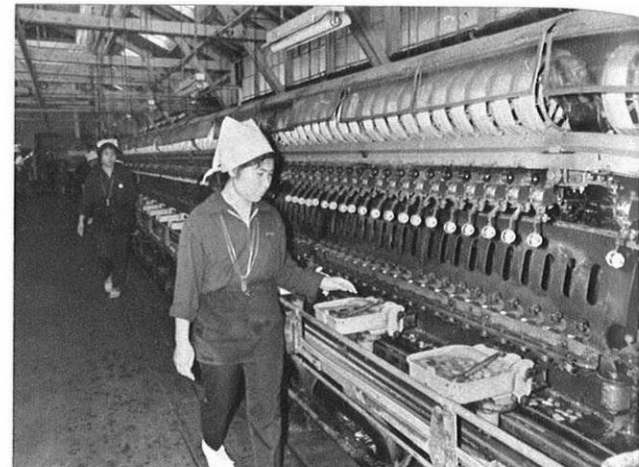
1. 目標
2. 計画を支える柱
3. 計画を達成するために

豊かな県民生活への道

県計画・総論

目次

★明日の郷土をになう青年の群像を、町や村や、職場の中に見出し、これを浮きぼりにしようというネライで、この号から〈若者のうたごえ〉シリーズを企画してみました。



この間までは、淋しくて泣きだしたこともあった。でも、



明るく声をかけあう仲間が、どんなに力強い



もう一人ぼっちじゃない。仕事にも張りがあるんだ

腕を組む若い仲間

根っこの会熊本県支部

わたくしたちは、互いに
苦しみうちかち、友情をはぐくみ
根っこのような
たくましさをもって生きぬこう

すばらしいピッチで成長発展する現代の産業は、若ものたちのエネルギーを可能ながざり要求する。
そして、若ものたちは、若々しい悩み、きびしい現実を、たくましく乗り越えて生きていく。働く。

わたしたちは、人を愛し
仕事を愛し、平和な、しあわせな
世の中をつくることに
努力しよう (若い根っこの信条)

平和な国をつくり、豊かな郷土をつくるために、若い世代にかけられる期待は大きい。
今年の十月、熊本にも 若い根っこ
の芽がふいた 十一人の仲間も七十五人にふえた 若ものたちはもはや孤独ではない ガッチリと腕を組んだ彼等の瞳は、未来をみつめている